



「超我の奉仕」

2005-2006 年度国際ローターのテーマ

RI 会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

第 2640 地区ガバナー 平尾寧章



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1447 回例会 18 年 6 月 12 日(月)

海南商工会議所 12:30 ~

1. 開会点鐘 会長 塩崎博司
 2. ロータリーソング 「我等の生業」
 3. 出席報告
 会員総数 74 名 出席者数 42 名 出席免除会員 2 名
 出席率 58.33% 前回修正出席率 80.56%

4. 会長スピーチ

副会長 花畑重靖



皆さん、こんにちは。本日は塩崎会長が国際大会へ参加していますので、私が代理で勤めさせていただきます。13名の会員と6名の奥様の計19名が国際大会に参加してくれています。また、米山奨学生の王さん、本日はようこそお越し

くださいました。

今夜、10時にはサッカーの世界カップで日本対オーストラリア戦が行われます。日本はFIFAランキング18位でオーストラリアは42位です。対戦成績は5勝5負4分と五分五分ですが、最近の3試合は連勝しています。

また、今朝の5時に九州で地震がありました。子供と孫がいるので、電話してみますと「長い間、揺れていた」とのことでした。簡単ですが挨拶とさせていただきます。

5. 幹事報告

例会臨時変更のお知らせ

橋本紀ノ川 RC 7月4日(火) → 7月2日(日)

19:00 ~ 五条市西吉野「さえき」

休会のお知らせ

海南 RC 6月28日(木)

例会会場変更のお知らせ

和歌山 RC 7月4日(火) 12:30 ~

ダイワロイネットホテル 4階

ビジターフィ 2,500円

6. 会員卓話

「地球温暖化と熊野古道」

吉田昌生君



今年の春は花粉にひきつづき、黄砂になやまされる季節でした。5月になりますと、もう梅雨かと思うほど雨が多く、気温の変動が激しく風邪をひいたり体調を崩した人もありました。資料にあるスイスのモルテラチュ

氷河の話をはじめ、ミカン前線の話になると、とても他人事とは思えません。

昨年のミカンの生産量は和歌山が愛媛を抜いて全国一となりました。それも台風のせいで、手放して喜べない現実があり、温暖化が進むと和歌山は暑すぎてミカンの適地から外れる恐れがあります。今から何らかの手を打たなければ大変なことになります。

カナダではじまった「カンバック・サーモン」の活動が北海道や長野、高知と広まり、和歌山でも「企業の森」や「緑の雇用事業」など、その一環といえます。

「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されてから「熊野古道」を歩く人々が急増しました。「蟻の熊野詣で」の現在版といってもいいくらいです。紀州語り部ガイドも忙しく、今月からは「熊野古道紀伊路」のガイド養成講座が始まります。昨今のガイドは、単に歴史的なことを説明して案内するだけでなく、森の樹木や草花、鳥や虫、獣などについての知識も必要です。「熊野古道」は「古道」、単に古い道ではなく「触れる道」、つまり、何に触れるかという熊野の神々、熊野の石(新宮、岩倉のゴトビキ岩)や水(那智の滝や岩田川、熊野川の清流)、巨木といった自然の靈気に触れる道であり、土地の人々と触れる道です。世界遺産に登録されたのは「紀伊山地の霊場と参詣道」であり、基本的には「信仰」があることを忘れてはなりません。いきなり熊野へ行っても熊野の神髄はわからない、古え人と同じように一步一步、熊野へと難行苦行の末、辿りついて「感涙禁じがたし」という体験をしてください。目的意識を持たず、満足感、達成感を肌で感じられない現在人が忘れていたものを取り戻し、蘇らせてくれるのが「熊野と参詣道」です。

昔の熊野詣では苦行を求めての旅でした。急な坂道

四つのテスト

真実かどうか 好意と友情を深められるか
 みんなに公平か みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：塩崎博司 幹事：木地義和 SAA：山畑弥生

をあえぎながら上下し、人々は肉体を苦しめることによって過去の罪障をぬぐい去り、神仏の加護を得て、新しい生命に生まれ変わるのだと信じたのです。罪障とは今風にいえば、心身の中に溜まっているストレスであり、それを肉体的苦痛や汗とともに放出し、健康を取り戻す。つまり、「甦る」ということです。熊野古道でなくても、森を歩き、山に登ることによって、肉体や精神が癒されるのは、誰しも体験するところでは。

ところで、中辺路を案内すると中には不満をもらす人もいます。熊野地方の森は素晴らしいと聞いて来たのに杉や檜の植林ばかりで期待はずれだったというのです。それは、森を良く知っている人の指摘であり、核心をついています。確かに中辺路の古道を歩くと周辺には自然林が少ないと感じます。熊野地方は森林が90%を占めていますが、その75%が植林(国全体では40%、和歌山県では60%)だといわれています。つまり、熊野古道では、春の花、秋の紅葉といった景観に出会うことが少なく、単調な森であり、多彩な自然の森を求めて来る人が失望するのは当然だということです。本来、熊野の森は大塔山系に見られるような広大な自然林で、しかも標高800メートル以上のところではブナと檜の巨木が入り混じっているのが特徴です。植林は戦後に行われたもので、戦前では「野中のとがのき茶屋」から谷を隔てた三日森山は、頂上まで見事なブナ林におおわれていたといわれます。地球の温暖化防止のためには、クリーンエネルギーやゴミの問題等々がありますが、和歌山ですぐにできることは森の再生です。輸入材によって砂漠化を招き、国産材の需要が激減して森林が荒れ、災害をもたらし、林業ばかりか漁業までも衰退してきています。実はここ十年、国産材は輸入材より安くなっているということです。国産材を使って家を建てようという活動もはじまっているようです。ロータリークラブとしても「世界遺産・100年の森」を作りましたが「カンバック・サーモン」の活動に協力して、自然林の再生や「企業の森」など、和歌山でも取り組んでいかなければなりません。

7. 次回例会

第1445回例会 平成18年6月19日(月)
海南商工会議所 12:30~
会員卓話 土井元司君 「国際大会報告」

*** ニコニコ・BOX ***

西川 富雄君 土井さんの代わりに王さんの送り迎え、責任重大です。です。
吉田 昌生君 卓話させていただきます。「地球温暖化と熊野古道」と固いテーマで恐縮です。
山田 耕造君 和歌山地方法務局長表彰と日本土地家屋調査士連合会長の感謝状をもらいました。

新垣 勝君 次期スタッフが3人座っているのでよろしくお願ひします。
大川 幹二君 久しぶりに前に座らせていただきました。



ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS

ロータリーの友

財団：ボランティア奉仕グラントを創設

ロータリー財団人道的補助金プログラムが最近、個々の補助金に替わり、ボランティア・サービス補助金になりました。この変更は、社会奉仕プロジェクトで、世界的ボランティア活動を支援するプログラムの意図するところをより良く反映し、財団の出資を、より良く定義するものです。これに関して、財団が新しい手続を作りました。未完の補助金プログラムに関する最終報告書と、終了後評価書類は今迄通りにダウンロード出来ます。全ての最終報告と終了後評価報告は、2006年8月31日迄に提出して下さい。

新補助金に関する必要条件と、申請方法の詳細は、最新版の(Volunteer Service Grants)ページを御覧下さい。

友情を胸に2006年度の大会

スエーデンのマルモとデンマークのコペンハーゲンで開催の2006年RI大会は、世界中からロータリアンが集り、結束と友情が重要事項です。そこで、この年次大会に併せて、いくつかのロータリーの同好会が年次大会を開いております。一例は、ロータリアンの国際モーターサイクル同好会(International Fellowship of Motorcycling Rotarians-IFMR)で、50名近い会員がスエーデンのパーストーブからコペンハーゲンまでの約95マイルを走破します。マルモとコペンハーゲンに到着する前に一行は、IFMRのジョーゲンオツエン会長のホームクラブのペルストルブに集結し、クラブの歓迎を受けます。

特別企画で変わっている、もう一つの同好会はロータリアンのワイン同好会で、日曜日の6月11日の夜7時に、サガ・クイーン号でワインと夕食のクルーズを行います。3時間のこの船上レストランは昨年コペンハーゲン港で始められ、夜景を楽しめることと思います。RWA Fの会員や同伴者は、他の参加者用に、1・2本の自分が自慢するワインを持参する事を奨めます。参加費は1人、米貨80\$です。

国際ブリッジ同好会(International Fellowship of Bridge Playing Rotarians)が、6月12日(月)の夜に、コンベンションセンターの近くに在るブリッジクラブで国際ブリッジトーナメントを開催します。

去年のシカゴ大会に刺激されて、クラシック、歴史的自動車同好会が陳列とパレードを行います。